

平成27年11月10日
記者発表

和歌山県では、DONETによって得られる津波観測情報を活用し、緊急速報メールで迅速な避難の呼びかけを開始します。

1 緊急速報メールの配信の方法

DONET観測網によって沖合で津波を観測し、津波予測システムにより大きな津波が到達されると予測した場合、以下の判定により緊急速報メールを自動配信します。

① 第1報（初波の観測から避難の呼びかけ。）

DONET観測点2ヶ所以上で振幅50cmを超えたとき。

② 続報（津波が高くなったことを伝える。）

DONET観測点2ヶ所以上で振幅50cmを超えて10cm単位で振幅が大きくなったとき。

※ ただし、携帯電話等の受信設定及び通信中等の場合や、緊急速報メール配信事業者の配信ルール（一定時間内に続けて配信出来ない）により、緊急速報メールが届かない場合があります。

2 運用開始

平成27年11月10日

3 配信内容

（第1報）

「和歌山県沖にて大きな津波の観測がありました。至急高台など緊急避難先へ避難し今後の情報に注意してください。なお、大津波警報、津波警報が発表されている間は、海岸・河口付近へ近づかないでください。」

（続報）

「和歌山県沖にて観測される津波が更に大きくなっています。至急高台など緊急避難先へ避難し今後の情報に注意してください。なお、大津波警報、津波警報が発表されている間は、海岸・河口付近へ近づかないでください。」

担当課	防災企画課
担当者	中内、藤井
電話番号	073-441-2284

DONET観測情報の活用

○地震・津波観測情報の収集強化

- ・海洋研究開発機構(JAMSTEC)が持つ地震・津波観測監視システム(DONETⅡ:H28年度運用予定)の観測情報をリアルタイムに入手できる体制を整備
- ・津波の規模や到達予測をいち早く県が把握し、避難のための情報を県民に提供
- ・気象庁より「気象予報業務許可」を取得し、平成27年度より予報業務を開始 **全国初**



DONETについて

◇DONETについて

DONETは、三重県尾鷲市の沖120~150km先の海底に水圧計、強震計、広帯域地震計などの観測計を設置し、地震、津波をモニタリングする観測システム。

※ 観測点は20ヶ所 海洋研究開発機構(JAMSTEC)が設置

平成26年3月から和歌山県に観測データの提供を開始。

平成27年度中にDONET2(徳島、高知沖に31箇所観測計を設置)の観測開始予定

※ DONET2対応については、27年度予算で整備

◇観測情報の利活用

1 津波予測 津波予報業務許可(串本7地点)の取得(H27.3.26)、運用開始(H27.4.30)

被害の大きさなど津波の発生直後から、津波の到達時刻や高さなどを事前に察知し、津波発生後の災害対応に活用する。(「和歌山県津波予測システム」)

- ・津波の規模をいち早く把握(津波到達時刻や最大予想津波高)
- ・夜間など状況が掴めない場合において被害の想定や、災害対応を行う判断に効果を発揮

2 住民への伝達 ※配信処理の自動化

観測情報を用いて、甚大となる津波かどうかを即座に判断し、エリアメール・緊急速報メールで「大きな津波が来ること」を呼びかけ避難につなげる。